

# Step by Step

名寄市教育改善プロジェクト委員会事務局だより 第11号(平成29年6月9日発行)

人生100年時代を生きる子どもたち。働き方が変わる、生き方が変わる。そんな未来を名寄市の子どもたちがたくましく生き抜くために「生きる力」を育み、夢と希望を拓く、【第2次名寄市教育改善プロジェクト】のスタートです。社会に開かれた教育課程の編成、コミュニティ・スクールの努力義務化、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、外国語教育の早期化などの課題を踏まえ、更なる学校経営の充実を目指して取り組んでいきます。「教育は人なり」ミドルリーダーの育成も含め、名寄の教育を発展させていきます。このプロジェクトの目的を一人一人が自覚し、有意義な取組にしたいと思えます。今年度の各研究グループの研究内容、推進計画についてお知らせします。

## 【教育経営の改善に関する研究グループの研究内容】

- 1 学校経営の充実
  - ①名寄市共通のモデル的な学校経営計画の作成
  - ②社会に開かれた教育課程の編成に係る研修
  - ③コミュニティ・スクール、小中一貫教育の取組状況の交流、導入の促進
  - ④各種指定事業に基づく実践交流
  - ⑤先進校視察等ミドルリーダー育成研修の実施
- 2 学級経営の充実
  - ①学級経営プログラム等の作成と到達状況の把握
    - ・言語活動の充実や教科書を適切に使用した指導方法の充実など、学習指導の工夫・改善に関する研修の複数回実施

## 【教育研究（研修）の充実に関する研究グループの研究内容】

- 1 「特別の教科道徳」の年間指導計画作成と授業研究
- 2 外国語活動、外国語の年間指導計画の作成、時間割編成の工夫、アクティビティ等の研究
- 3 体力・運動能力調査の結果・分析を踏まえた研究



## 【教育指導の充実に関する研究グループの研究内容】

- 1 主体的・対話的で深い学びの理解と各学校の授業研究
  - ①アクティブ・ラーニングのイメージの共有
  - ②アクティブ・ラーニングの授業づくり
  - ③ICTを効果的に活用するための工夫（先進事例の研究）
- 2 問題行動の理解、いじめ・不登校への対応の交流・研修
  - ①楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-Uの効果的な使い方に関する研究
  - ②困り感のある全ての児童生徒の指導の充実に関する研究

## 【教育経営の改善に関する研究グループ】の推進計画

- 〈～7月〉 ○各校が作成した学校経営計画の交流・協議  
○智恵文小・中学校、名寄東小学校、風連中央小学校のコミュニティ・スクールの取組についての交流
- 〈～9月〉 ○各学校の学級経営案と到達目標の把握の仕方の交流・協議  
○モデルとなる学校経営計画の明確化・提示  
○社会に開かれた教育課程の考え方や具体的な編成の仕方、保護者や地域の人々との共有の仕方についての研修
- 〈～10月〉 ○モデルとなる学級経営計画の明確化  
○各種研修会や視察研修への派遣、各種情報提供の実施  
○研究活動の交流  
○ミドルリーダー育成研修会



## 【教育研究（研修）の充実に関する研究グループ】の推進計画

- 〈5月〉 ○新体力テストに関わる研修会（5月16日（火）実施済）
- 〈6月～〉 ○読み物資料「名寄岩」を活用した授業研究  
○外国語の指導時数を確保するための時間割編成に関わる実態調査、モデル提示
- 〈9月～〉 ○特別の教科道徳・外国語の指導計画や学習過程などのサンプル作成、提示
- 〈10月〉 ○特別の教科道徳・外国語についての家庭・職員向けリーフレット作成

## 【教育指導の充実に関する研究グループ】の推進計画

- 〈5月〉 ○名寄市でおさえるアクティブ・ラーニングのイメージの共有化
- 〈6月〉 ○1回目Q-U実施(小3、小5年、中1年対象)
- 〈7月〉 ○Q-U分析学習会（7月4日）
- 〈8月〉 ○指導案検討、授業アンケートづくり、授業案内
- 〈9月〉 ○研究授業
- 〈11月〉 ○2回目Q-U実施
- 〈12月〉 ○Q-Uデータ分析



◇名寄市においては、小学校の中学年における外国語活動、高学年における外国語を次年度からスタートさせる予定です。移行期間の30年、31年は、15時間を越えない範囲で総合的な学習の時間を活用することも検討されています。小学校は32年度、中学校は33年度に全面実施される新学習指導要領のスタートに備え、この教育改善プロジェクト委員会の取組は大きな価値があると思います。特別の教科道徳、ICTの活用、アクティブ・ラーニング等、名寄市の子どもたちのために頑張っていきたいと思います。

◇研究授業、各種研修会等、積極的な参加をよろしくお願いいたします。